

ニューズレター雪氷北信越

No. 35 平成6年1月10日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

講演会・学習会報告／講演会・学習会・講習会の案内／支部賞／その他

講演会

富山地区講演会「リモートセンシングによる積雪観測」の報告

11月27日(土)午後2時から4時、富山市科学文化センターで行われた上記の講演会には、冬の初めということもあって、テレビや新聞などの報道関係者が多く取材にきました。初めに、合成開口レーダーがどのようにして分解能をあげているか、また、地上の対象物をどのようにとらえるのかを、石森繁樹氏が講演されました。その後、衛星に積んだ合成開口レーダーの積雪への応用とその問題点について、富山平野の湿った雪での観測をもとに、北海道の乾いた雪との対比などを含めて、上林徳久氏が講演されました。参加者はおよそ40人でした。(石坂幹事 記)

学習会

石川地区学習会「積雪内の融雪水の不飽和鉛直浸透現象」の報告

石川高専畑時男教授を講師にお招きし、12月13日(月)13:30～15:30、金沢大学工学部秀峰会館小会議室において表記学習会が開かれました。積雪中の融雪水の不飽和鉛直浸透現象に関する研究レビューの後、畑氏がこれまで行って来られた研究の理論、実験両面について興味深い話がありました。講演終了後約30分にわたり熱心な討論が繰り広げられました。参加者は13名でした。(宇治橋 幹事 記)

学習会

新潟地区学習会の報告

新潟地区では、上越市の北陸農業試験場で12月22日の16時から18時00分にかけて「東ヒマラヤ ナムチャバルワ峰の雪氷特性」と題して学習会を開きました。当日は、先般、ナムチャバルワ峰で気象、雪氷観測に従事された飯田肇氏(黒部市吉田科学館)に話題提供をお願いしました。同峰付近がヒマラヤでも屈指の悪い気象条件下にあること、そのため今回の気象観測、雪氷調査が初登頂の成功に大きな役割を果たしたことが、主としてビデオにより、分かりやすく紹介されました。衛星データをはじめ最新の技術を駆使した周到な観測の様子は、美しいナムチャバルワ峰の偉容と共に参加者に深い感銘を与えました。なお、参加者は11名でした。

(高見理事 記)

講演会

長野地区講演会のお知らせ

冬季オリンピックを4年後に控えた長野県における会員増強のキャンペーンとして、今回は、利雪・克雪に関わる内容で下記の通り講演会を開催致します。

記

1. 日 時 2月5日(土) 14:00~16:00
 2. 場 所 信州大学教育学部M館4階第1会議室
 長野市西長野6-0
 3. 講演題目 克雪の技術 梅村晃由(長岡技術科学大学)
 人工雪と気象 丸山定利(日本気象協会)
 4. 参 加 自由です
 (問い合わせ先) 小林 詢(信州大学教育学部 TEL.0262-32-8106)
 矢島 篤(日本気象協会長野センター TEL.0262-35-1533)

学習会

福井地区平成5年度第2回学習会

下記の通り開催しますので多数の御参加をお待ちいたします。

記

- 日 時 平成6年2月22日(火) 13:30~15:30
 場 所 福井県建設技術センター会議室
 福井市春日3丁目303 TEL.0776-35-2412
 内 容
 1. 溪流における地下水涵養の一工法について
 福井県建設技術センター 専門員 小林五太夫
 2. 降雪と地下水位変化について
 福井県雪対策技術センター 次長 杉森 正義

お知らせ

雪氷防災研究会及び雪氷防災研究連絡会 開かれる

長岡雪氷防災実験研究所は富山県と共催で、平成5年12月1日(水)に富山市において、第18回雪氷防災研究会及び第7回雪氷防災研究連絡会を開催しました。「酸性雪とその影響」をテーマにした研究会(10:15~16:00)には多方面から121人の出席者があり、6人の講師の方々の講演の後、活発な総合討論も行われました。既に影響が顕在化している北欧やカナダで得られた教訓を無にすることなく、我が国でもこの問題に対処していくことが大切であり、今後の各方面の協力が期待されます。

今年から形式を変えて行った、「雪氷防災研究の現状と動向」に関する研究連絡会(16:00~17:00)には41人の出席者がありました。4機関(金沢大学、北陸農業試験場、土木研究所新潟試験所、富山県)の方に主な研究成果や計画を発表していただき、その他の機関については主催者側でとりまとめでご紹介しました。地球科学的な研究とリモートセンシングを利用した研究の増加が最近の傾向です。概要集の原稿をご提出いただいた皆様にお礼申し上げます。両会終了後、なごやかに懇親会も行われました。

(岩波 越 記)

雪氷コア研究における
花粉分析の役割

講師：ジョスリン・ブルジョワ女史（カナダ地質調査所・研究員）
（逐次通訳付き）

日時：1994年 1月25日（火） 15:00 ～ 17:00

場所：新潟県教職員互助会館『けさじろ荘』

長岡市今朝白1-10-275 Tel 0258-33-7400

主催：長岡雪氷防災実験研究所

後援：（社）日本雪氷学会北信越支部

過去の地球の気候・環境を知るための方法として、最近、雪氷コアの研究が脚光を浴びています。ブルジョワ女史は、10年以上にわたって北極域の雪氷コア研究にかかわってこられた方です。ブルジョワ女史が長岡を訪問される機会に、カナダの雪氷コア研究、特に御専門の花粉分析のお話を中心とする講演をしていただくことになりました。雪氷コアの花粉分析からどのようなことが解明されるのか、北極域での豊かな野外調査経験を踏まえた、珍しいお話が期待されます。皆様、奮って御参加下さい。

なお、講演会終了後、ブルジョワ女史を囲んで懇親会を開催する予定です。こちらも奮って御参加下さい。懇親会に参加を希望される方は、お手数ですが 1月20日までに下記へ連絡いただければ幸いです。

連絡先：長岡雪氷防災実験研究所 東久美子、または佐竹弘志

Tel 0258-35-7522 Fax 0258-35-0020

平成5年度 新潟地区講習会のご案内

- [1] 講習題目：積雪観測法（積雪の断面観測と雪の含水率の測定）
- [2] 日時：1994年2月27日（日） 9：30～15：30
- [3] 場所：長岡市西片貝町888，長岡工業高等専門学校
（積雪の状況次第で実習地を変更することがあります。その際は申し込み者へ直接連絡いたします。）
- [4] 講師：遠藤八十一氏（農林水産省森林総研）、佐藤和秀氏（長岡高専）、
山田 穰氏（長岡雪氷防災研）、五十嵐高志氏（長岡雪氷防災研）
- [5] 実習内容：積雪の層構造と雪質の観察、雪温、密度、積雪相当水量などの測定、
雪の含水率の測定
- [6] 申し込み方法：ハガキまたは封書にて氏名、所属、会員、非会員、学生の別、
連絡先住所および電話番号を記載し、郵送またはFAXで2月5日（土）まで
下記へご連絡下さい。定員：15名（先着順）
- [7] 申し込み先：☎947 小千谷市稗生乙 小千谷高校 田村盛彰
TEL：0258（83）2262，FAX：0258（82）0646
- [8] 受講経費：テキスト、実験材料等の実費として次の費用をご負担下さい。
個人正会員＝3000円、団体会員＝5000円、非会員＝10,000円、
学生＝2000円
（講習当日に領収いたします）
- [9] 当日に持参するもの：筆記用具（鉛筆）、ノート、定規、電卓、長靴、防
寒具（長靴、ヤッケ）
- ※申し込み受付け後、改めて案内をお届けいたします。
※講習会終了後、後日修了証を交付いたします。

担当 （社）日本雪氷学会北信越支部幹事 田村

申 込 書

氏 名 _____（個人正会員，団体会員，非会員，学生）○印

所 属 _____

連絡先／住 所 ☎ _____

電話番号： _____，FAX： _____

講習会

富山地区講習会のお知らせ
「積雪断面観測講習会」

日時：平成6年2月5日（土）10時～16時
場所：富山県林業試験場、林業普及センター（予定）
講師：川田邦夫（富山大学）、飯田 肇（黒部市吉田科学館）
内容：午前 ミニ講演 積雪観測の新しい手法についての話題提供
を予定しています。
午後 実習 積雪層構造と雪質の観察、密度、雪温、含水率測定等

定員：20名まで

申込方法：電話またはFAXで、1月28日までに下記へ
ご連絡下さい。

申込先：富山大学理学部地球科学科 川田邦夫
〒930 富山市五福3190 TEL. 0764-41-1271内2549
FAX. 0764-41-2972

または

黒部市吉田科学館 飯田 肇
〒938 黒部市吉田574-1 TEL. 0765-57-0610
FAX. 0765-57-0630

参加費：テキスト代として1,000円（当日徴収致します）

当日持参する物：防寒具、長靴、筆記用具

※日程、会場、内容についての詳細は、参加希望者の方に直接連絡
致します。

支部賞

1994年度支部賞授賞候補者推薦の申出について

1994年度支部賞授賞候補者の推薦には、支部の理事および評議員が、下記の項目を記載して4月10日までに書類を支部事務局へ提出することとなっております。

候補者にお心当たりの方は、期限に間に合うようにお近くの理事あるいは評議員へお申出下さい。

記

- (1) 雪氷技術賞、大沼賞、雪氷功労賞の区別。
- (2) 推薦者の氏名、所属、職名。
- (3) 授賞候補者の氏名（または団体名）、所属、職名。
- (4) 推薦理由書（〇〇〇の功績などの授賞表題を掲げ、800字ほどにまとめたもの）。
- (5) 上記の理由書を証明する関係書類があれば添付する。

案 内

第7回新潟県雪対策研究会のご案内

日 時：平成6年2月23日（水）

場 所：新潟県庁講堂

プログラム：10:00 開 会

10:10 研究発表

質疑応答

12:00 閉 会

内 容：各機関で行っている雪に関する試験研究概況等について情報交換を行う。

参集範囲：大学等

国の研究機関等

県関係課、関係試験研究機関

その他 公団、財団等試験研究団体

主 催：新潟県

問合わせ先：新潟県企画調整部 地域振興課雪対策室

TEL.025-285-5511（代表）

FAX.025-285-3790

Topic

1993年7月千葉県船橋市にオープンした屋内人工降雪スキー場「ザウス」への反響

The Japanese slave away on enclosed beaches and slopes.

（日本人は屋内のビーチとグレンデで奴隷のようにあくせく遊ぶ。）

ータイム, 1993年8月2日号よりー

（注）enclosed beachとは、1993年7月宮崎市にオープンした「シーガイア」をさす。

" It is sensational, and unbelievable architecture."

11月28日に「ザウス」を訪れたオーストリア経済大臣のことば。

unbelievableには、信じられないというよりも考えられない、オーストリアには必要ないの意味が込められている。

ースキージャーナル, 1994年1月号よりー

こうも寡雪年が続くと、そのうちにスキーも屋内スポーツになりかねないのではないかと心配しているのは筆者だけだろうか。

（小林幹事 記）

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは

長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL.0258-35-7522

FAX.0258-35-0020

までお願いします。